

DAILY PLANET アフガニスタン・キャンドル・プロジェクト ～TOKYO 油田 2017×TOKYO FM×JOICFP～

アメリカ合衆国のオバマ大統領が対テロ戦の主戦場と位置づけるアフガニスタンの情勢が悪化しています。断続的な停電が続く現地では、原油価格の乱高下にもなう物価上昇の影響を受け、電灯の代わりとなる灯油やランプの入手が厳しく、現地の子どもたちは、ろうそくのあかりを心待ちにしています。そんなアフガニスタンの子どもたちにろうそくを寄贈する企画が「アフガニスタン・キャンドル・プロジェクト」です。

昨年、「DAILY PLANET」のDJを務める石川實が担当していたTOKYO FM朝のワイドプログラム「SKY」で、「生まれてから一度も絵を描いたことがない」「色を知らない」アフガニスタンの子どもたちへ、クレヨンや色鉛筆、絵の具、ノート、画用紙などの文房具、画材を届け、絵を描くことで夢と希望を持ってもらおうとする「レインボー・プロジェクト」を行いました。「アフガニスタンの子どもたちへ色を送ろう」と放送を通じての呼びかけに対し、僅か2週間で、1500人以上のリスナーが参加、ダンボール箱で200箱以上、1万セットの文房具、画材が寄せられました。

財団法人ジョイセフの協力のもと、集められた文房具、画材は船便で横浜港を出発し、昨年2月23日にアフガニスタン・シャララバードの「アフガン医療連合」に到着。現地スタッフにより子どもたちに届けられました。その後、子どもたちが画用紙やノート一杯に描いた色彩豊かな「絵」や、描いている姿を写した写真が日本に到着、昨年4月には、神楽坂のギャラリーでアフガニスタンの子供たちが描いた絵や写真の展示を行いました。

TOKYO FMでは、昨年の「レインボープロジェクト」から始まった「アフガニスタンプロジェクト」の第二弾として、2009年は、現地にキャンドルという「光」を届ける「アフガニスタン・キャンドル・プロジェクト」を行います。

*子どもたちは厳しい生活の中で、文字を学び、読み書きできる喜びを感じている。
日本からのろうそくが、アフガニスタンの子供たちの心に新しい希望の炎をともしているんです。
～アフガニスタンにろうそくを寄贈した実績のある財団法人 JOICFP・簡野芳樹さんコメント*

■実施概要

「アフガニスタン・キャンドル・プロジェクト」

放送時間：TOKYO FM ワイド番組「DAILY PLANET」内
(月～木 20:00～21:30 東京ローカル)

パーソナリティ：石川實(いしかわ・みのる)

企画内容：

2009年3月

番組「DAIRY PLANET」内において、番組リスナー・ろうそく製造企業に、アフガニスタンへ贈る“キャンドル(ろうそく)”の寄贈を呼びかけます。

* 使いかけのろうそくは、「東京ろうそく製造株式会社」の協力により、一旦溶かして新品を製作。

* 番組スタッフが、飲食店からろうそくの原料になる“天ぷら油”を回収します。

回収した天ぷら油は、「東京油田2017」の協力で精製、

精製した油は「東京ろうそく製造株式会社」の協力でろうそくに。

2009年4月 集められたろうそくを財団法人 JOICEP を通じ、アフガニスタンの子供に寄贈。

2009年12月までに、ろうそくを手にした子供たちの写真の報告展示会を開催予定。

* アフガニスタンとは…

人口は3100万人。人口の半分が1000円以下の月収。平均寿命は43歳。乳児の死亡率は1000人中160人。極度に低い電力供給事情から、国民の90%が大半が暗闇の中で食事をしています。

賛同/協力企業（敬称略）

特別協力（中古ローソクを溶かし新品を製作/回収天ぷら油よりローソクを製作）

- 東京ローソク製造株式会社（東京都浅草区）

ローソク提供企業

- 近江（おうみ）手作り和ろうそく大興（だいよ）（滋賀県）
- 有限会社中村ローソク（京都府）
- 株式会社高澤商店（石川県）
- ペガサスキャンドル株式会社（岡山県）
- 松井本和蝋燭工房（愛知県）

天ぷら油提供

- 平河町 天真（東京都千代田区）
- 平河町 川澄（東京都千代田区）
- 銀座 てんぷら一宝（東京都中央区）
- 銀座 てんぷら したのはる（東京都中央区）

ローソク運搬協力

- 財団法人 JOICFP

天ぷら油回収協力

- TOKYO 油田2017 株式会社ユーズ